

三永太陽保育園

「危ない」「やめて」を言いたくない！ 自分で感じ、気付き、伝え合える遊具を。

保育環境づくりのポイント

本年度はまず職員全員で「自分が思う危ない場所や遊びを広げたい場所」を考え、結果をまとめました。その中で0歳～5歳まで全園児が遊べるような、遊びの広がる場所や遊具を考え、すべり台の作成をすることに。保護者の方々や地域の方にもお願いし、「ルールがいらない」がルール環境を作ります！

～こどもたちのこの力を育みたい～

☑感じる・気付く力 ☑うごく力 ☑考える力
☑やりぬく力 ☑人とかかわる力

取組み内容

①子どもの姿を想像しながら…。 考えるのは自分達。設計、準備、作るのも！

設計はプロとして依頼した地域の大工さんと一緒に行いました。「ここが危ないんじゃないん？」「落ちんようにこうしとく？」と試行錯誤。自分達で考えると、作る際に出てくる遊具の隙間や不安な場所も安心な場所に変えられる準備ができました。

ワークショップの様子



②ワークショップ！和気あいあいの良さを 痛感する園長と、“子どもの為に”の思いを ひとつにした時間

子ども達も土づくりに参加しながら午前、午後で木村先生をはじめ、20名の保護者、地域の方、他園の先生方に協力していただきました。上手くいかない、想定と違う事もありながら、木村先生や大工さん、保護者の方と集まってより良い遊具が作れるように話し合い、たくさん試しながら進めました。



大人がやってみて失敗することは、危ないを見つけるチャンス！
安全に繋げる！
痛いけど…楽しい！！



③予想だけでは分からない！ 作って分かる。危険な場所や子どもの動き。

完成し、子どもが遊ぶ中でその姿や友達と関わる様子、動きを見守っています。年齢によっても動きに違いがあるので、園内研修等で全体の様子を伝え合いながら、遊びの広がりを意識した環境構成や安全性の確保を行っていきます。



<今回の取組みを通して>

三永太陽保育園が環境整備を始めて2年目！大きな遊具の制作に取り組みました！
子どもの為に”を考え、作って終わりではなく、その先の子どもの行動からまた新しい何かを考える。安全と安心って、こうしてつられていくんだなあと、みんなで考えることができました。。

副主任 堀本 憲太